

◆ カメラ接続時の注意点

① カメラの入力は ch 数字の隣り合うグループで構成されます

例) 4ch レコーダーの背面図

・ 4ch= グループ数：2
 ・ 8ch= グループ数：4
 ・ 16ch= グループ数：8
 ※詳細は【表 1】を参照

グループ② ch3・ch4
 グループ① ch1・ch2

② 同一グループには同じ信号規格のカメラを接続する必要があります (排他的制限)

※同一グループに異なる信号規格を入力すると「フォーマット異常」というエラーが表示され、出力されません

【表 1】 各レコーダーの ch グループ表

	ch1・ch2	ch3・ch4	ch5・ch6	ch7・ch8	ch9・ch10	ch11・ch12	ch13・ch14	ch15・ch16
4ch レコーダー	グループ①	グループ②	-	-	-	-	-	-
8ch レコーダー	グループ①	グループ②	グループ③	グループ④	-	-	-	-
16ch レコーダー	グループ①	グループ②	グループ③	グループ④	グループ⑤	グループ⑥	グループ⑦	グループ⑧

③ 異なる信号規格のカメラを接続する場合の運用例

例) ●カメラ構成例
 [CVI : 3台] + [CVBS : 1台] = 計 4 台の場合

●対処方法

1. 全て同じ信号規格のカメラへ統一 → 例) CVI x 4 台へ統一
2. 上位レコーダーで運用 (ch グループ数を増やす) → 【表 2】参照
3. グループから排他対象となる CVBS カメラを IP カメラへ変更 ※

※IP カメラ接続時の注意点

- IP カメラは、排他対象外となるため制限は受けませんが、下記点にご注意ください

1. 最後の空き ch から追加可能です
2. レコーダーの AI 機能は無効となります
3. レコーダー別に IP カメラの入力数上限有り (詳細は仕様書参照)

【表 2】 8ch レコーダーを選定 & 下記接続方法とし、シーケンスにて画面表示順を変更し運用

	グループ①		グループ②		グループ③		グループ④	
チャンネル	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6	ch7	ch8
入力信号	CVI	CVI	CVI	-	CVBS	-	-	-